

平成30年3月13日

保護者様

篠山市立八上小学校

校長 松笠 勝也

平成29年度学校評価について（報告）

先般、学校評価についてのアンケートにご協力賜りありがとうございました。児童、保護者からの評価と内部の自己評価をもとに、学校運営協議会でも意見をいただきました。保護者の皆様に改めて本年度の取組状況と来年度に向けての改善方策をお知らせします。

達成状況については、アンケート調査の結果（4段階）の平均を算出し、3.1以上をA（よく達成できた）、2.5～3.0をB（達成できた）、2.0～2.4をC（あまりできていない）、1.9以下をD（できていない）としています。

分野	評価項目	達成状況			取組状況・改善方策
		児童	保護者	教職員	
キャリア教育	将来の自分や夢について考えたり、目標をもって日々の生活にとりくんだりすることができたか。	A (3.4)	B (2.8)	B (2.9)	キャリア教育のねらいや取組について、引き続き保護者への啓発、ていねいな説明が必要である。そのため、学校便り等で説明をするとともに、キャリアノートを持ち帰り、保護者が取組を知る機会を設ける。
学習指導	授業において、児童の課題にあつたていねいな指導をし、基礎・基本を定着させることができたか。	A (3.2)	A (3.1)	B (3.0)	複数指導によって児童の困り感や課題をみとり、教師間で共通理解をはかって、きめ細やかな指導に生かしていく。
	授業において「めあて」「まとめ」を意識させ、児童が見通しをもって学習できるようにしているか。	A (3.2)	A (3.1)	A (3.2)	児童の中でも定着してきている。振り返りは、子どもの言葉でまとめることを大切にす。また、発達段階や学習内容に応じて予習を取り入れる。
	話し合う活動を計画的にとりいれるなど、学習形態を工夫し学び高め合う学習指導にとりくめたか。	A (3.3)	A (3.3)	B (3.0)	説明したり表現したりする力は伸びてきている。今後も、気軽におたずねができる学級づくりをおこない、聞き返しできる能力を育てていく。
生徒指導	「八上小学校いじめ防止基本方針」に基づいて全職員でとりくみ、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を行ったか。	A (3.3)	B (3.0)	A (3.5)	組織的に指導に取り組み、解決に導くことができた。今後も、学校教職員が多く目の児童の様子をみとり、保護者と情報を共有しながら未然防止、早期発見に努めていく。
	児童に考えさせ、児童自身が主体的に取り組む児童会活動や学級活動が行われているか。	A (3.6)	A (3.3)	B (3.0)	児童は活発に活動しているが、児童会、委員会の活動が、教職員やPTAの補助活動になっている部分がある。創意工夫して、自分たちでよりよい学校生活にしていく活動ができるように考えていく。
ふるさと教育	地域の人材や教材を活用し、地域の良さを学び、ふるさとに誇りを持つ「ふるさと教育」をすすめたか。	A (3.6)	A (3.3)	B (3.0)	学年で扱う地域教材や人材を整理し、総合的な学習の時間をはじめとして各教科の関連性を考慮し、学年の系統性をもってとりくんでいく。
人権教育	体験活動や学習を通じて人権感覚を身につけさせ、互いの良さや個性を認め合う人権教育を行ったか。	A (3.4)	A (3.1)	A (3.2)	人権朝会、人権便り等は、児童・保護者への啓発の機会として引き続きとりくんでいく。親子人権参観後の講演については、保護者と児童がいっしょに聞く機会にするなど、多くの方が参加できるよう工夫する。インターネット利用の問題点やLGBTなどの人権課題についても学習を深める。

